

自己融着性シリコンゴムテープ ポリママルチテープ

口径の大きな配管の各種漏えい補修に強い味方

「ポリママルチテープ STRONG」+「シリコパテ」で
より確実に より強力な補修が可能

ピンホールの穴埋め、管と継手の段差を埋めるなどさまざまな用途に使用できる貼って剥がせる万能パテです。シリコパテの上からポリママルチテープストロングを巻くとより強力な補修が可能です。



自己融着性シリコンゴムテープ
ポリママルチテープ
STRONG

厚みとゴム強度を増した
強力タイプ



シリコン製パテ
シリコパテ

キレツや隙間などの漏気部の
封止や凸凹、継手部の段差解消



■施工前の準備と注意点

- ポリママルチテープの取り扱い
手やポリママルチテープ貼り付け面にゴミやほこり、油などの汚れが付いていると、融着や接着性が妨げられ十分な効果が得られません。薄いゴム手袋の着用を推奨します。
- 施工箇所の確認と汚れの除去
施工箇所に、バリ等のエッジ部があると、ポリママルチテープがさけてしまう恐れがあります。事前にバリや錆、汚れ等を取り除いておく必要があります。
- 適切な長さに切って使用する
ポリママルチテープはロールのまま使用せず、適した長さに切ってご使用ください。また、両端は斜めにカットし、剥離フィルムを剥がしてからご使用ください。

■取扱い上の注意

- 安全性の確保
ポリママルチテープの施工や取り外しは、作業の安全性を十分に確保してから行ってください。

■使用上の注意

- 一般工業用途以外には使用しないでください。
- 使用に際して、お客様にて事前テストを行い、使用目的に適合するかどうか確認してください。
- 製品はお子様の手が届かない場所で、直射日光を避け常温で保管してください。
- ポリママルチテープ表面にはほこりや汚れが付かないようにご使用、保管してください。
- ポリママルチテープは、刃物等の鋭利なもので簡単に切れますので、注意してください。
- 製品を取り扱った後は、手を洗ってください。
- ガソリン、シンナー、トルエン等の揮発性の油や有機溶剤は使用しないでください。
- 廃棄の際は、各自治体の指導に従ってください。
- 水中でのご使用は避けてください。巻き付け部から、剥がれる恐れがあります。
- ご使用前には、安全データシート(SDS)をお読みください。
SDSは担当営業部署までご依頼ください。

- このカタログに記載されているデータは、規格値ではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうか確認してください。
なお、ここで紹介する用途や使用方法などは、いかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。
- 当社のシリコン製品は、一般工業用途向けに開発されたものです。医療用その他特殊な用途には絶対には使用しないでください。
- 本カタログに記載されている信越ポリマー及び信越ポリマー製品の名称は、当社又は当社の子会社・関連会社の有する登録商標、もしくは商標です。

- その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- 本製品の記載内容は、予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本パンフレットの記載情報を許可なく複製・模倣・流用・転載することを禁じます。

営業本部

営業第四部 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル ☎03-5288-8417

大阪支店 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-8-29 テラサキ第2ビル ☎06-6350-1121

福岡支店 〒812-0026 福岡市博多区上川端町12-20 ふくぎん博多ビル ☎092-281-4666

水漏れ補修

サビ止め

絶縁被覆

結束

滑り止め



巻き付けるだけの簡単メンテナンス



さまざまな用途・目的に使用できるシリコンゴムテープ

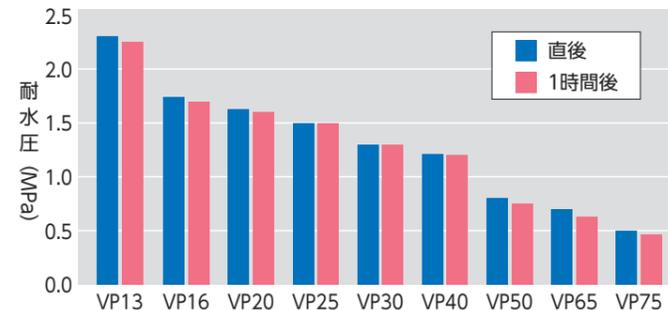
自己融着性シリコンゴムテープ《ポリマルチテープ》は、巻き付けるだけで水漏れ補修・サビ止め・絶縁被覆・結束・滑り止めなど、多くの用途に使用することができます。粘着剤や可塑剤は使用しておらず、引っ張って巻き付けることでシリコン素材同士が融着し一体化するテープですから剥がしてもベタつかせず跡残りもありません。耐候性に優れたシリコン素材のため長時間持続して性能を発揮します。



耐水圧性

■試験条件

[テストピース] 塩ビ管VP13~75にφ3mmの孔を開けた箇所
に長さ30cm/25mm幅のテープ1本を一箇所に集中してテープ幅 約12mmに引張って巻く。
[試験方法] ①クリーブ試験機を使用して、徐々に水圧を上げ、破水した水圧を記録する。
②1時間経過後、再度徐々に水圧を上げ、破水した水圧を記録する。



防食性 (塩水噴霧複合サイクル試験)

■試験条件

[テストピース] 自己融着性シリコンゴムテープ
ポリマルチテープ 30cm/25mm幅
[被着体] PLS15A (ポリエチレン被覆鋼管) の
①ねじ切り部にテストピースで被覆、②被覆なし
[試験方法] JASO M 609に準拠し、塩水噴霧2時間、
乾燥4時間、湿潤2時間の8時間を1サイクルとし、
270サイクルまで試験を実施した。



■試験結果 (270サイクルは、実暴露20年相当)
●被覆なしは、錆の発生がある。
●テストピースで被覆すると錆の発生がなく優れた防食性が見られる。

※上記各試験は、当社試験結果であり、品質を保障するものではありません。

ポリマルチテープ 施工手順

使い方は動画をチェック



- テープ端部を約60度斜めにカットし、施工箇所に合わせた長さにカットします。巻き付け前に剥離フィルムを剥がします。
- 巻き始めは、テープ先端を押えて引張り、まず1周させテープ同士を融着させます。
- 融着させたらテープを短めに持ってテープの幅が2/3 ~ 1/2程度 (水漏れ補修の場合25mm幅は12mm、50mm幅は25mmを目安としてください。) になるよう強く引張りながら巻いていきます。
- 水漏れの補修の場合は漏れの発生している箇所に集中させて巻きます。防食等の場合は半分重ねてらせん状に巻き進めます。
- 巻き終りのテープ後端の頂点を持って引張り、これまで巻いた全幅にテープがかかるよう端部をしっかり押えて圧着します。

耐候性 (超促進耐候性試験)

■試験条件

[テストピース] 自己融着性シリコンゴムテープ
ポリマルチテープ 5cm
[試験方法] 超促進耐候性試験機 (メタルウェザー) にテストピースをセットし、40℃、600時間照射した。
テストピースの外観変化について確認を行った。

■試験結果

●600時間 (実暴露20年相当) 後の外観変化はなかった。

難燃性 (鉄道車両用材料燃焼性試験)

■試験条件

[テストピース] 自己融着性シリコンゴムテープ
ポリマルチテープ
1/2ずらして重ね合わせ薄い両端をカット
[試験方法] 鉄道車両用材料燃焼性試験 (車材燃試) により燃焼性試験を実施した。

[試験結果] 判定：難燃性

絶縁性

■試験条件

[テストピース] 自己融着性シリコンゴムテープ
ポリマルチテープ 5cm

■試験結果

●絶縁破壊強さは、25kV/mmとなった。

※上記各試験は、当社試験結果であり、品質を保障するものではありません。

安全性

水道用資機材の浸出性能基準 適合

食品、添加物等の規格基準 (厚生省告示第370号) 適合

耐薬品性

■試験条件

[テストピース] 自己融着性シリコンゴムテープ
ポリマルチテープ
[試験方法] JIS K7114に準拠し各種薬品の所定の温度条件で24時間浸漬した。

■試験結果

●弱酸性や弱アルカリ性では、外観の変化がなかった。
●強酸性や強アルカリ性には、侵された。

薬品	濃度	温度	外観変化
塩酸	(10%)	40℃	○
	(36%)		×
硫酸	(10%)		○
	(75%)		×
硝酸	(10%)		○
酢酸	(75%)	23℃	×
次亜塩素酸ナトリウム	(5%)		○
水酸化ナトリウム			×
水酸化アンモニウム			×
過酸化水素水			○
エチルアルコール			○
メチルアルコール			○
ガソリン			×
トルエン			×
アセトン			○
エチレングリコール		80℃	○
食塩水	(10%)		40℃

*上記データは、大まかな耐薬品性挙動を示したもので、耐薬品性を保証するものではありません。使用に当たっては、使用条件を考慮した試験等を行い、確認の上ご使用ください。

製品仕様

製品名	ポリマルチテープ	
	W25	W50
色	半透明	
幅	25mm	50mm
中央部厚み	1.0mm	
耐熱温度	-50~200℃	
引張強さ (1)	50N以上	100N以上
伸び率 (1)	600%以上	
硬度 (IRHD) (2)	30以下	
離型フィルム色	透明	

*数値及び測定値は、規格値ではありません

(1) 試験片：製品幅 試験速度：500mm/min チャック間：30mm
(2) JIS K 6253準拠

商品名	品番	形状	梱包入数		
			小箱	中箱	ダンボール
ポリマルチテープ 2m	PM 25W-2M	山型	1個	10個	80個
ポリマルチテープ 5m	PM 25W-5M	山型	1個	5個	30個
ポリマルチテープ 5m	PM 50W-5M	山型	1個	3個	12個